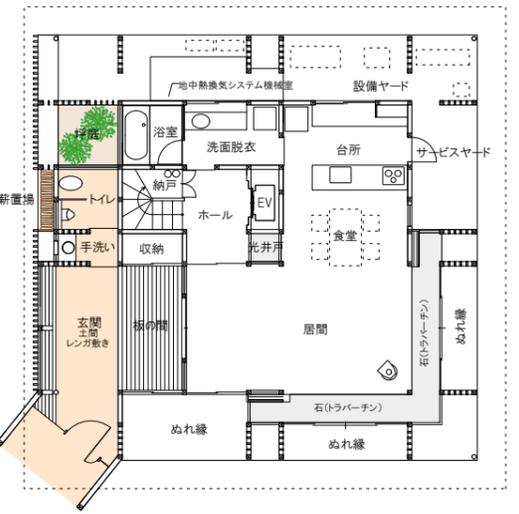
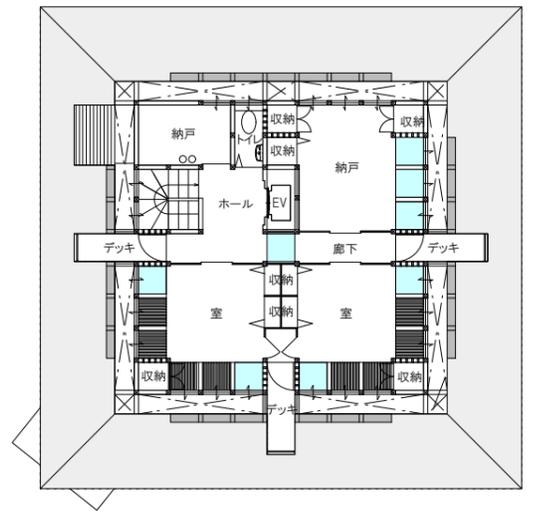


- 「将来の住まい方」
- 1) 高齢になって、室内の一番のバリアは階段である。家庭用エレベータのスペースを将来用に計画してある
 - 2) 子供たちが独立すると、たくさんの部屋は必要ない。不意の客に対応できる「板の間」と充実した「居間」の提案



1階将来計画 S=1/200



2階将来計画 S=1/200

- 「主要材料」：「自然素材」の活用
- ・構造材は県産材を使用する。造作材・補助材等も極力近県で生産されている素材(桧等)を選択する。
 - ・天井材は下地材として使われている杉野縁(下地材36角)をそのまま化粧材として使用する。
 - ・土舗装：県内で生産されている、土とセメントのミックスされた舗装材(ピゼンソイル)。保水・熱反射抑制効果が期待できる。
 - ・耐火レンガ：備前特産のレンガを土間や駐車スペースに使用する。

主な使用材料は、県内あるいは近県で生産される素材を使う。「資材の輸送エネルギーの節約」もエコハウスの大切な要素

見学デッキ
執務室の屋外に開放できるドアであるが、屋根に設置された太陽熱温水器や太陽光発電パネルを至近距離で見られる見学デッキになる。

